

NUBIC 知的財産情報開示

開示日：2016年4月25日

各 位

NUBIC 知的財産情報の要約を公開いたします。

技術移転等を御希望の場合は、ホームページの「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォームからお申込みください。各担当コーディネーターから御連絡申し上げます。

「[NUBIC 技術シーズ案件申込](#)」フォーム：

[TOP](#) > [共同・受託研究](#) > [申込書／契約書](#) > [技術移転等をご希望の場合](#) > [WEB](#) から

出願番号 整理番号 担当者

表題	培養容器		
発明の用途	実用化に向けてのGMP，GLPグレードのDFATの作製に利用可能。		
技術概要	本発明は、皮下脂肪組織を採取し、コラゲナーゼ処理や精製工程、遠心分離工程を経て得られる成熟脂肪細胞を脱分化させ、様々な体内組織細胞（骨芽細胞、筋細胞、血管細胞、神経細胞等）への転換が可能な多能性を有する脱分化脂肪細胞（DFAT）の作製に適した初代培養容器に関するものである。従来、DFATは、成熟細胞を天井培養法と呼ばれる方法により、通常（市販）の培養容器にて初代培養しているが、脂肪細胞が培養液の上部に浮遊して、培養容器の天井部に足場をつくり、脱分化するため、培養容器に培養液を完全に満たす必要があり、また脱分化したのち、培養を継続するため、培養液を交換にあたり、培養容器の上下を反転させるなどの操作があるため、培養液が多く必要となり、その作業性に問題点を有していた。本発明は、培養容器を底面から3mm～5mmの高さに、底面と並行に中仕切り板を設け、中仕切り板の端部に脂肪細胞が仕切り板外に流出しないよう縁板を設け、且つ仕切り板には、脱分化促進、DFATの培養促進のために、ラミニン、フィブリロネクチンなどのコーティングを施したものである。		
発明の効果	本発明によれば、扱いが容易で大量の細胞を一度に培養できる方法及び培養容器が提供される。		
技術分野	食品・バイオ，ライフサイエンス，再生医療		
キーワード	脱分化脂肪細胞（DFAT），臨床用細胞培養，再生医療		
国際特許分類	C12N 5/06	C12N 5/0775	



【問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター（NUBIC）

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL：03-5275-8139 FAX：03-5275-8328 E-mail：nubic@nihon-u.ac.jp